

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 海、山を結ぶ・里山の木の家

グループの名称 北リアス・里山の木 家ネット

直近採択グループ番号 04-0427-0062

(グループ代表者)

代表者名 村田 藤男 代表者印

代表者所属先 有限会社村田建業

代表者所在地 岩手県久慈市大川目町第6地割62番地10

代表者電話番号 0194-55-2120

(グループ事務局)

事務局事業者名 株式会社黒沼建築設計事務所

事務局担当者名 黒沼 忠雄 印

事務局郵便番号 028-0012

事務局所在地 岩手県久慈市新井田第4地割21番地2

事務局電話番号 0194-52-2552

事務局FAX 0194-53-9750

事務局担当者E-mail anber.9@smile.ocn.ne.jp

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、三世帯同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		12	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	12	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		3	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	3	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸		
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		4	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		3	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	3	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限165万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	0棟	/			
			0㎡				
		申請が未確定	0棟				
			0㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	これまで長期優良住宅への取り組み実績が無かった事業者を最優先し、更には取り組み実績の少なかった事業者を優先しつつ、その上で受注が確実視されている事業者等への配分をとするものとする。						
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	当初予算	採択戸数	10戸	交付申請戸数	10戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	5戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	当初予算	採択戸数	1戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	当初予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
	当初予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
優良建築物型							
当初予算	採択棟数	0棟	交付申請戸数	0棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0戸	
当初予算	採択床面積	0㎡	交付申請床面積	0㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0㎡	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 海、山を結ぶ・里山の木の家	(地域型住宅供給対象地域) 久慈市を主とした北三陸沿岸地域
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 北リアス・里山の木 家ネット	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0427-0062	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	温熱仕様については3地域仕様(2地域に該当する場合はその仕様)をもって統一する。 「里山の木」の芯柱(大黒柱)を構造的に配置する。 掃き出し開口部1ヶ所以上配置しバリアフリー対応とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	風土(ヤマセ等)に根差した、地場の木材(アカマツやスギ)等を主体的に用い造られた、地場産材多用型の「里山の木の家」づくりをもって、特徴ある街並み景観の形成を図る一助とします。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	ヤマセ地域の風土や伝統に照らし「木と気」にこだわった地域型住宅づくりに、以下三つの共通ルールを設定します。 ①構造的にも精神的にも住まいづくりの伝統であり、支えである、大黒柱(芯柱)のある家づくり。 ②バリアフリー化と、地域とのふれあいを大切にする、掃き出し開口部を適切に配置した家づくり。(開放性) ③夏場の冷氣(偏東風)を取り入れられる「ヤマセ風土利活用」型の家づくり。(木の通の家)	◎
④①~③の背景	春から夏にかけオホーツク海の高気圧の発達により発生する冷たい海霧を伴った偏東風「ヤマセ」風土を、住まいづくりの有り様に具現化します。 岩手県は県土の80%が森林であり、中でも沿岸エリアのヤマセ風土を好適地として生育しているアカマツを、「南部琥珀松」としてネーミングし官民一体でブランド化を推進している。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	里山の木の家づくりのコンセプトをグループ内で再確認すると共に、25年度作成した地域材活用による長期優良住宅対応型の「モデルプラン」を活用し、被災者を含めた顧客等に説得力のある説明が出来る様、グループの研修等に積極的に努めるものとする。	○
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
①-2 使用建材の統一	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 地域材に重きを置き地場の認証工場の生産する地域材(里山の木)を主とした家づくり。	◎
②-1 建材・資材調達共同化	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: コスト管理に向け共同購入システム等も視野に検討している。	○
②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: コスト管理に向け共同購入システム等も視野に検討する。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 資材、木材等の一括購入や管理システム導入の模索に向け、生産合理化検討委員会を設置する。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない ■ ある → 内容: 資材、木材等の一括購入や管理システム導入の模索及び職人確保への情報の共有化等グループの協力協調システムづくりの推進を図る。	◎
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない ■ ある → 内容: 第三者機関の検査基準に則り、基礎・軸組・防水に重点を置いて施工する。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない ■ ある → 内容: 30年間の維持管理計画書の交付(点検時期と項目を共有)。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない ■ ある → 内容: 消費者に分かりやすい設計図面表記等の標準化及び見積書式の統一化を図る。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない ■ ある → 内容: 長期優良住宅モデルプランの作成から、構造や積算等のシュミレーションをもってグループの資質の向上を図り、顧客への信頼を得られる様に努める。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	瑕疵担保責任保険等への加入を必須とする。 工事請負契約締結の履行(支払い条項等)を明記し、上棟時までに受領金額は、請負額の2/3以内とする。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 海、山を結ぶ・里山の木の家	(地域型住宅供給対象地域) 久慈市を主とした北三陸沿岸地域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 北リアス・里山の木 家ネット	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0427-0062	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 住宅履歴情報の蓄積	
	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 物件の情報は、事務局、各会員の共通管理とする。共通維持管理マニュアルの整備、活用する。	◎
	①-2 情報サービス機関の活用 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 物件の情報は、事務局、各会員の共通管理とし、定期的に報告を義務付ける。	◎
	② メンテナンス基準の整備	
	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 30年間の維持管理計画書を作成し、点検の時期や項目等の共通化を図り、共有する。	◎
	②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検の結果を施主に報告・伝達する手法を確立する。	◎
	②-3 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 30年間の維持管理計画書を作成し、点検の時期や項目等の共通化を図り、共有する。	◎
	③ 住まいの管理	
	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理計画書に基づき点検時期などを、施主や元請事業者に知らせ情報を共有化する。	◎
	③-2 DIY体験会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	③-3 その他の相談会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	④ 維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住まいのハードと共に、作り手と住み手の情報を共有する為の新たな確立を長期優良住宅維持管理部会内で取り組む。	◎
	⑤ その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 元請事業者が管理等作業不能な状態となったとき、事務局が点検等の代替履行业者を紹介するシステムを確立している。	◎
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期的に勉強会を開催する。	◎
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 瑕疵担保責任保険等への加入を必須とする。 情報部会を消費者相談窓口の役割を担う部会とする。	◎

エ. グループの技術力の向上		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局内に支援室をおき、ソフト・ハード両面でサポートする。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局・経験工務店が相互に協力、指導にあたる。	◎
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期的に現場確認を行う。	◎
	③-1 需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 技の伝承や継承に向けての地域型住宅の建設に当たり、モデルプランを一般公開し小中学生に体験の場を設定する。	◎
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅省エネルギー施工技術講習会において、多くの事業所の職員が受講し、省エネ技術の習得を図る。	◎
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 21 今年度の参加目標人数 11	◎
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 3 今年度の参加目標人数 5	◎
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 昨年は台風10号の影響により取り組めなかったため、今年はグループ内で省エネ技術講習会を他団体と連携し開催する。	◎
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ゼロ・エネルギー住宅採用に向けて、グループ全体の技術力を高めるべく一体となって、技術開発等講習会・勉強会に参加する。	○
	② 新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 新たな技術の導入実績は、グループ内で共有し、検証しあう。	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 追加登録を希望する施工事業者には、省エネルギー施工技術講習の受講を必須とする。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 海、山を結ぶ・里山の木の家	(地域型住宅供給対象地域) 久慈市を主とした北三陸沿岸地域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 北アラス・里山の木 家ネット	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0427-0062	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		◎、○ 記入欄
【平成29年度対応方針】		
a	<p>① 地域材利用に関する共通ルール(必須)</p> <p>② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)</p> <p>③ 標準的な地域材の使用部位(必須)</p> <p>④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明</p>	◎
<p>主要構造材の岩手県産材の割合を50%以上、主要構造材以外の羽柄材(間柱、筋交い、垂木)の岩手県産材の割合を20%以上使用する。 南部アカマツやカラマツ、杉等を使用する。</p> <p>□ 50%未満 ■ 50%以上 □ 80%以上</p> <p>土台: □ 使用していない ■ 使用している 柱: □ 使用していない ■ 使用している 梁・桁等の横架材等: □ 使用していない ■ 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: □ 使用していない ■ 使用している 造作材 枠材、廻縁等: ■ 使用していない □ 使用している 板材 壁板、床板等: ■ 使用していない □ 使用している</p> <p>一部施工グループの事業者において、すべて手刻みによる加工を行うため、地域材の共通の流れの中で製材・集成材・合板等の事業者から直接購入する場合がある。また、一部、流通事業者を介さず、地域材の調達を行う場合がある。 原木の一部において、森林管理署が管理する国有林を競争入札等により調達する場合がある。この際原木供給業者名を特定できないが、これらは明らかに地域材であり、よって地域材として活用を図る。</p>		◎
b	<p>①-1 地域材在庫把握の仕組</p> <p>①-2 地域材価格の共有の仕組</p> <p>② グループ全体における地域材の需給予測</p>	◎
c	<p>①-1 畳の活用</p> <p>①-2 和瓦の活用</p> <p>①-3 襖の活用</p> <p>①-4 障子の活用</p> <p>②-1 その他地域の伝統的な素材の活用</p> <p>②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用</p>	○
d	<p>① 地域の伝統的なデザインを継承する取組</p> <p>② 地域の住まい方の継承につながる取組</p> <p>③ 地域の街並み形成へ寄与する取組</p> <p>④ 和の住まいの要素を取入れた取組</p>	◎
<p>その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。</p> <p>和と洋、二つのモデルプランを作成し、地域の景観等に合った伝統的なプラン及びデザイン等を提案できるコンテンツを準備しニーズに対応する。 岩手県震災復興住宅モデルプラン提案に係る、低廉戸建住宅の建設にグループで取り組み、技術力の向上を目指す。</p>		◎
カ. その他		
【平成29年度対応方針】		
東日本大震災の復興に資する取組		◎
平成28年熊本地震の復興に資する取組		◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 海、山を結ぶ・里山の木の家	(地域型住宅供給対象地域) 久慈市を主とした北三陸沿岸地域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 北リアス・里山の木 家ネット	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0427-0062	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

The infographic is divided into three main sections:

- 長期優良住宅 (Long-term Excellent Housing):** Features include maintenance and renovation plans, durability, high insulation, and livable environments. A diagram shows a house with a roof height of 75% or more and a floor area of 40% or more.
- 認定低炭素住宅 (Certified Low Carbon Housing):** Features include low carbon measures, high efficiency equipment (water-saving, cooling, ventilation, heating), and high insulation. A bar chart shows a 10% reduction in primary energy consumption compared to a basic standard.
- ゼロ・エネルギー住宅 (Zero Energy Housing):** Features include renewable energy equipment (solar, fuel cells) and high efficiency equipment. A diagram shows a house with high insulation and renewable energy sources.

On the right, a bar chart titled "エネルギー削減イメージ" (Energy Reduction Image) shows a 10% reduction in energy consumption. The chart compares a basic standard (消費エネルギー) with a certified low carbon housing (認定低炭素住宅) and a zero energy housing (ゼロ・エネルギー住宅). The zero energy housing shows a 10% reduction in energy consumption compared to the basic standard.

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。